

# 全国学力・学習状況調査等と学校評価を連動させた学校改善

札幌市立前田中央小学校

## I 取組の重点

### 2期4節の教育プログラム

### 1 全国学力・学習状況調査等を学校改善に生かす2期4節の教育プログラム

本校では、平成14年度から学校生活のサイクルを年間前後期の二期に分け、さらにそれぞれの期を二節に分けて「二期四節」の教育活動サイクルをとっている。そして、節ごとにふり返りを行い、次節の課題を明らかにしながら教育活動を進めている。本校では、昨年度から全国学力・学習状況調査の結果について、札幌市の全体の傾向をおさえながら、本校の児童の傾向を集約し、本校独自に行っている学力検査の調査結果と合わせて、児童の学びの傾向をとらえている。その上で、児童の学びの傾向を学校評価のサイクルに取り入れ、2期4節の教育プログラムを通して具体化していこうというのが、本校の取組の概要である。

### 2 テーマの意図

#### (1) 2期4節の教育プログラムに基づいた学校教育目標の具体化

本校では、2期4節の教育プログラムに基づいて、各部・各学年の教育活動を具体化している。学校の実践課題を受けて、児童の実態をもとに各部・各学年の目標が設定され、具体化している。

#### (2) 全国学力・学習状況調査等の結果と学校評価

本校では、4月に、2～4年生を対象に本校独自の学力検査を実施している。ここでは前年度の児童の学習の状況をとらえ、全国学力・学習状況調査の結果と合わせて児童の学習の実態把握に努めている。10月には児童への学習、生活意識調査、12月には、保護者アンケートを実施している。それらをもとに、児童の学習への意識や生活実態の把握、学びの課題を明らかにしながら、学校評価に生かしている。

### 3 本校における全国学力・学習状況調査等の活用の進め方

#### (1) 学校の実践課題の中に取り入れて取り組む

本校では、学校評価の指標の一つとして、全国学力・学習状況調査の結果及び、本校独自の学力調査の結果を活用した。

その進め方は、

ア 年度末の学校評価において、学力調査の結果分析等を受けて改善の方向を検討。

イ 年度初めに学校評価の指標として具体化に向けて方向性を示す。

ウ 各学年と指導部で検討し、新年度の重点・目標を決定し、具体的な改善策を策定する。

エ 各部の重点、各学年の学年プログラムに基づいて、節ごとに見直し実施。

#### (2) 調査の結果を指導資料として活用

4月に行われる全国学力状況調査の結果は、本校独自で行っている学力検査結果とともに、児童の学びの傾向を探り、指導に生かすための指導資料として活用した。

### 学校評価への活用

### 児童の学びの傾向を把握

## II 取組の具体化

### 相手を意識し書く力の充実

### 1 本校における学力・学習状況に関する課題～全国学力・学習状況調査等から

#### (1) 相手意識を育て、書く力の充実

① 相手意識や目的を明確にし、自分の考えを分かりやすく伝える指導の工夫

② 書く目的や意図を明確にし、自分の考えをまとめたり、必要に応じて簡単に書いたりする指導の充実

## 基礎・基本の習熟

- (2) 漢字の活用、基礎・基本の習熟を図る
  - ① 文脈にそって漢字を活用したり、言葉に対する知識を定着させたりするための言語活動の充実
  - ② 既習と関連付けながら数と計算の意味や仕組みについて理解を深め、習熟を図る指導の充実

## 2 改善策の具体化

- (1) 学年プログラムの中に位置付けて  
本校の学年プログラムは、児童の発達段階に即して、年度当初の児童の実態を踏まえた上で、学年目標を設定した。学年の目標に向かって児童をどう育てていくかということをも  
  - ① 相手意識を深めよりよい人間関係を築いていく観点から「学年づくり」
  - ② 学び（「話す」「聞く」「読む」「書く」「学び合い」）の系統を踏まえた観点から「学びづくり」の両面から、重点やねらいを設定し、計画していった。交流を通して自分の学びを深める「学び合い」活動をどう作っていくか、漢字、読書活動の定着、T Tの活用などについての具体策が検討された。
- (2) 行事での取組  
行事部では、重点を「自分の思いや願いを生き生きと表現し、互いに高め合うことができる行事の創造」に向けて、運動会・学習発表会・作品展・卒業式等の行事に取り組んだ。その中でお互いの取組のよさを認め合い、かかわりが深まるような交流活動を設定し、相手に思いを伝えるという目的意識をもって「書く」ことに取り組ませるようにした。

## Ⅲ 取組例の実際

### 始業前の計算練習

#### 1 学年での取組

- (1) 始業前の計算練習  
朝、短時間で継続して実施した。  
児童の計算力向上に向けて、「速く」「正確に」というめあてをもって取り組んだ。また、始業前に2分程度の時間で行うことで児童の集中を生み、一日の生活のリズムを作っている。  
こうした始業前の取組は、日常の教科の学習とは、異なり、新しい学習内容を身に付けることを目的とするのではなく、誰もが既に身に付けていることを繰り返し練習していく中で、速さや正確さを向上させていくことで自信を深めさせていくものである。教科の目標とは異なるが、前よりもタイムがよくなったことなどを評価されることで、教科の学習に対しても自信をもって臨めるという効果が見られた。



- (2) 朝の読書の定着と充実に向けて  
朝の読書については、各学年で定着と充実を図った。読書や漢字については、本校の保護者アンケートでも子どもの読書習慣への評価が低くなっていることから、活字や読書に対する子どもの関心を高めるために、次のような取組を行った。
  - ① 寄託図書を活用～必読図書リストの活用

### 寄託図書の活用

児童の読書環境を整えるために、寄託図書を活用した。学級全員分の冊数を4種類から5種類程度そろえ、朝読書の時間に児童が読みたい本を選んで読むことができる環境を整えた。

学級や学年の児童の実態にあった本を事前に選ぶのが難しいところであるが、本校では、「前田中央の子はこの本を読みましょう」という必読図書のリストを作成していることから、これを活用して、児童の実態に合った図書を選択するようになった。

- ② 学年ワークスペースの活用による読書機会の拡充  
 学年の共有スペースであるワークスペースに本を置いて、自分の読みたい本を自由に読むことができるような環境を整えた。本の収集にあたっては保護者に呼びかけて読まなくなって家庭に眠っている本の寄贈を受けた。ワークスペースに置いてある本の中から、児童は自分で読みたい本を選ぶことができる。児童の本の選択の幅が広がることにもつながっている。
- ③ 図書ボランティアの活用による読書への関心を高める取組  
 学級の保護者が、朝読書の時間に学級で絵本の読み聞かせを行った。教師の読み聞かせの他にも読み手が変わることによって、児童の聞く姿勢を引き出し、図書に対する興味関心を高めた。

メッセージ  
カード

2 お互いの良さを認め合い、カードで心の交流を図る

① 運動会・学習発表会・卒業式の取組を通じて思いを伝える

3 大行事において、メッセージカードを書いて、各学年間の交流を図った。運動会や学習発表会では、他学年のがんばりや、良かったところをカードに書いて渡した。

卒業式では、6年生との思い出をふり振り返り、お世話になったこと、うれしかったことなどをカードに書き表し、卒業生に渡した。係では、これをもとに卒業式のよびかけを作成した。

子どもに、「書く」ことの楽しさや意義を実感させるような機会を増やしていくことに学校全体で取り組んだ。



② 作品交流展で思いを伝える

長期休業終了後、1週間、夏休みと冬休みの作品を各学年ごとにワークスペースに展示した。ここでは、あえて全校で異なる学年のワークスペースを訪問し、カードを書く活動を設定した。日頃、国語などの時間で身に付けてきている目的や場に応じた表現力を、活用する場として、様々な作品をじっくりと鑑賞し、優れている点や、努力している点を見つけ出し、それらが伝わるように文章で表現することを大切にした。

3 T Tを活用した算数の授業

(1) 外部人材の活用

T T担当、少人数指導の2名に加えて、退職教員等を活用した非常勤講師、学びのサポーター、理科支援員等の外部人材を活用しながら、個々を支援し、児童の学びを充実させるための活用を図った。退職教員を活用した非常勤講師は、算数を基本教科とし、T Tと一緒に、またはT T以外の時間に学年学級の要望で加配し、効果的な運用を図った。

(2) 重点単元を決めて活用

算数の重点教材を設定し、加配を行った。主として計算の技能の向上を図るための活用を中心に組んだ。

T Tの活用

重点単元

	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
8月			小数(11)	小数のかけ算(11)	分数のかけ算とわり算①(11)
9月	たし算とひき算のひっ算(10)	あまりのあるわり算(7)			分数のかけ算とわり算②(11)
10月	かけ算①(22)	かけ算のひっ算(13)	分数(11)	小数のわり算(11)	
11月			わり算のひっ算②(15)	平行四辺形と三角形の面積(12)	体積のはかり方と表し方(11)
12月			角の大きさ(9)		比(6)
1月	4けたの数(10)		計算のきまり(7)	百分率とグラフ(12)	比例(12)
2月	長いものの長さのたんい(9)	かけ算のひっ算②(9)	面積のはかり方と表し方(11)	円周と円の面積(13)	算数卒業旅行
3月					

学年の要望をもとに、特に、T Tを活用して重点的に個に応じた指導を行う単元を決め、時間割の調整を行った。算数は、単元によって、子どもの苦手意識や、定着の程度に差が見られる教科であることから、こうした工夫を行うこととした。どの学年にも、毎週満遍なくT T担当の教諭が入るという考え方ではなく、T Tによる指導が必要な学習を選択するという考え方をとるようにした。



### (3) 個へのかかわり

全体の中で理解が遅れがちな児童や支援が必要な児童に、個別に指導にあたった。また、習熟度に応じた少人数での指導も行った。

きめ細かな指導を行う上では、T T担当教諭と担任の共通理解が欠かせない。例えば、12月には、4年と6年に重点的にかかわることで、すべての学年について打合せをする必要がなく、より緊密な連携を図ることができると考えた。

## IV 研究の成果と課題

相手を意識し、  
書く力の充実

### 1 本校の取組における成果

- 各学年プログラムの中で、学び（話す・聞く・書く・読む・学び合い）の系統を意識しながら、一年間を見通して指導に当たった。
- 朝読書では落ち着いて読む雰囲気が出てきている。低学年を中心に、図書館の利用は増加傾向にある。2006年度の一人当たりの図書貸出冊数14.5冊であったが、2007年度には、15.2冊に増加している。また、全国学力学習状況調査の児童質問紙の「読書は好きですか」という項目においても、80%以上の子が、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えている。2008年度も、中休みや放課後の図書館は児童の姿が大勢みられ、本や読書への関心は高い。本校では、地域や保護者の図書ボランティアの方々を中心とした、図書館行事も活発であり、このことも児童の読書意欲の向上に大きく寄与していることを付け加えておきたい。
- T Tを活用した算数の授業では、個々への指導が丁寧にきめ細かく行われるため、子供たちから「自信がついた」「よくわかった」等の声が出ている。質問紙の、「算数の授業の内容はよくわかりますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と8割近くの子が答えている。

基礎基本の充実

### 2 本校の取組における今後の課題

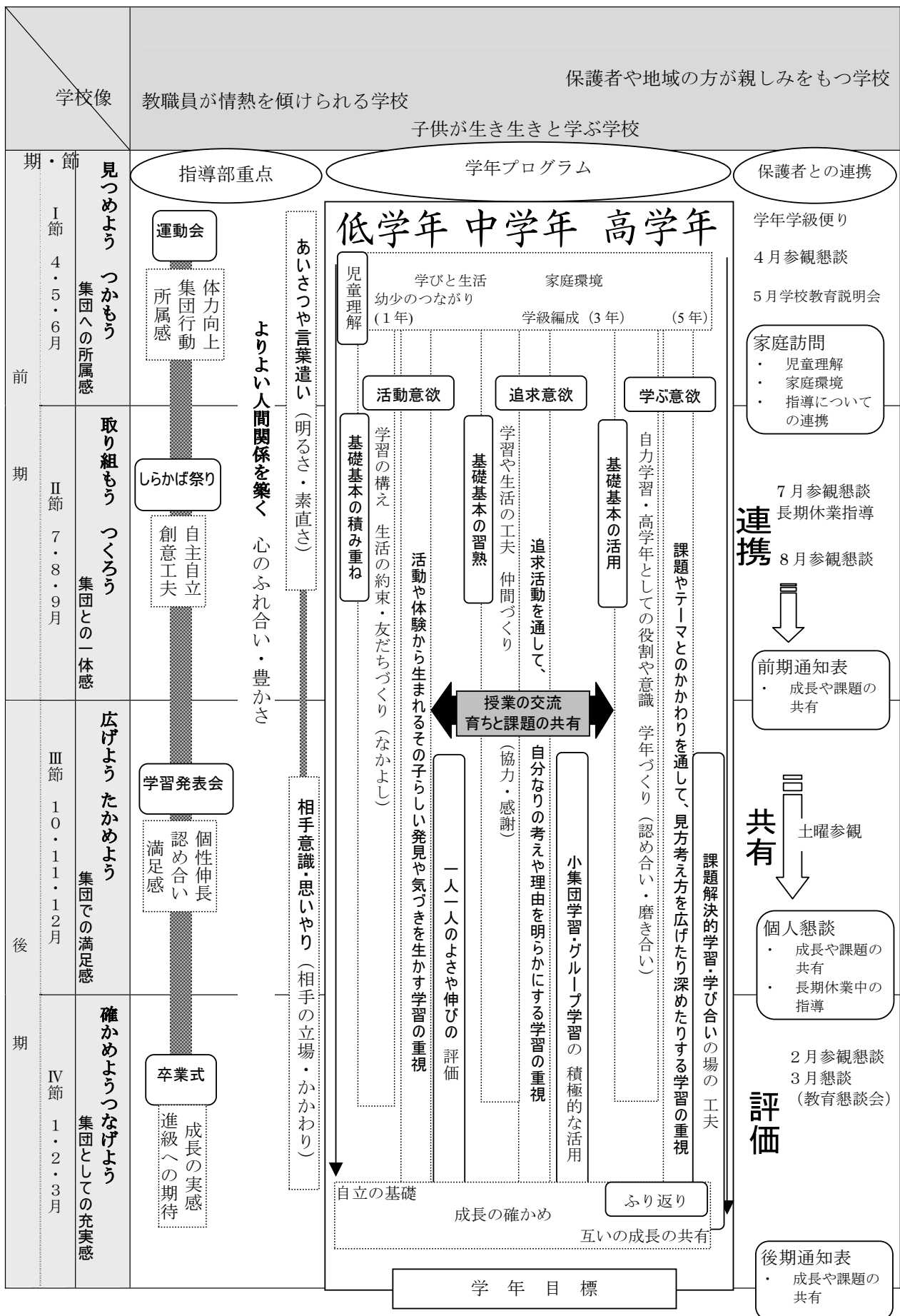
- 子どもたちの学習が楽しいという意欲は高まっている。学力学習状況調査の「国語」や「算数の学習が好きですか」という項目でも、全国平均を上回っている。しかし、本校が行った児童の学習生活意識調査の結果では、書く力については、まだ文章表現が得意であるという子どもの割合は少ない。得意なこととしてとらえている児童は半数近くにとどまっている。今後も継続的に取り組んでいく。
- 学年プログラムは学年集団が、足並みをそろえて取り組んでいく上で大切なものであるが、全校共通の意識に立って取組める課題がより具体的でめざすものがはっきりと分かりやすいものにしていく必要がある。学年プログラムの形式や内容等を改善し、学校の重点が具体的な取組として学年プログラムの中に位置付けられ、日常の教育活動に生かされていくようなシステムを構築していく必要がある。
- 子どもの学びの傾向をとらえるために、4・5・6年生を対象に学習生活意識実態調査を行っている。全国学力・学習状況調査の児童質問紙の項目と一致しているものもあるが、今後、学力改善に向けて、データの蓄積と活用を考えた場合、質問項目を関連付けて、より確かな児童の実態の把握と、変容の裏付けとなるよう努めなければならない。

学年プログラムの  
充実

V 資料

教育課程の具体化 3

二期四節を見通した教育プログラム



学校像1  
「子どもが生き生きと  
学ぶ学校」

- 子供の思いや願いを大切にし、温かい人間関係のある学校
- 子供の見方や考え方を育てる学校
- 教科の基礎基本の力を確かにつける学校

学校像2  
「保護者や地域の方が  
親しみをもつ学校」

- 明るい声が響き、笑顔があふれる学校
- 保護者や地域の方が共に子供を育てる学校
- 子供の安全や人権が守られている学校

学校像3  
「教職員が情熱を  
傾けられる学校」

- 子供一人一人を全職員で育てる意識に立つ学校
- 授業改善に情熱を燃やし、互いに学び高め合う学校



	内 容	具体化に向けて	評価
実践課題1	ア 二期四節の見通しのある教育プログラムによるめざす子供像の実現を図る	・「心豊かに自らがやく子」の実現に向けた学年目標の設定と学年プログラムによる具体的な見通し	
	イ 子どもと向き合い、相手の話をしっかり聞く、相手の立場や考えを思いやるなど、自他を尊重する態度を育てる	・授業を通じた「学び合い・励み合い・磨き合い（相手意識）」の積み上げ	
	ウ 授業やTT・少人数指導の充実を図り、基礎基本の力を確実に育てる	・教科の基礎基本の定着に向けたワーク・ドリルの活用 ・評価規準による適切な指導と評価 ・計画的なTT・少人数指導の実施と指導法の確立	
	エ 朝の読書活動で読書への関心を高めると共に学習活動への心構えを育てる。	・活字や読書への関心を高める朝の読書の取組 ・寄託図書の積極的な活用	
	オ 保護者、町内会、地域の施設とのつながりを活かし、ねらいに向かう学習を計画・実践する。	・地域学習やテーマ学習を重視した単元開発（総合） ・子供の問いや思いを生かす学習展開の工夫	
	カ 校内学びの支援委員会を中心として校内研修や関係者との連携などで児童理解を深め指導に生かす。	・子供の内面や背景を理解した就学指導 ・共通の認識に立った支援体制	
実践課題2	キ 時と場に応じた心のこもったあいさつや言葉が交わされる学校づくり	・心のこもった声かけやあいさつの日常化 ・相手意識や思いやりを意識化させる指導と評価	
	ク 家庭訪問、参観・懇談、PTA活動、各種便りを工夫し、子供のよさと課題を保護者と共有し、解決に向けて共に努力する	・二期四節を通じた保護者との連携（参観懇談による祖育ちと課題の共有） ・お便りを通じた保護者への啓蒙と投げかけ	
	ケ 保護者及び地域町内会との連携を深め子供の安全安心の確保に努める	・安全防災マニュアルの徹底と下校体制の定着 ・子供の安全意識を高める指導と評価	
	コ 教育活動を広く地域に広げ地域の一員であるとの自覚を育てる。	・参観や教育説明会、行事等を積極的な公開 ・地域への情報発信	
実践課題3	サ 授業を通して子供や授業改善について、いつも語り合える雰囲気づくり	・日常的な学年協働による子供理解 ・授業交流を通じた育ちと課題の共有	
	シ 組織の一員として互いの意見や立場を尊重しながら問題解決にあたる	・各部の重点に対して、学年学級が共通の認識で具体化を図る体制の充実	

第6学年 学年プログラム	
学年 目標	<h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">Go a head!</h1> <p>・ 1人1人が力を高め、今まで学んできたことを生かしながら仲間と共に積極的 的に行動する。 ・ 最高学年を自覚した態度や行動を取ることで、他学年からあこがれをもた れる集団作りを目指す。</p>
部	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">学年(心算)づくり</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">学び(心算)づくり</p> </div> </div>
一 節 見 つ め よ う か も う	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> めあて作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活のきまり</li> <li>・1年生返り草</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 1年生を迎える会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生と楽しく迎えながら、学年のよさを発揮する。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 遠足・学年、学級レクを通して仲間意識を育てる</p> <p><input type="checkbox"/> 運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真学年立役(ワークシート)一冊りを教えることを通して、 1年生の誇りと責任を持つ目標に向かって高めよう。</li> <li>・めあてと評価(がんばりカード)</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> 学級組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級を活性化させる活動</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 学年朝会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題にふいたスロープ、身振り 多様な活動計画</li> </ul> </div> </div>
二 節 取 り 組 も つ く ろ う	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">学年活動の計画</p> <p><input type="checkbox"/> 修学旅行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お宝探しの場でのマナーを守りながら、自分たちの評価 したことをもとに計画・実行できる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">アクリル・文芸創作発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個性のある作品のよさを学年で共有</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> しらがば祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全体で協力しながら創造的な世界を作る。</li> <li>・親子を巻き込んだ企画・運営</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> 基礎基本の更なる定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の百マス計算、毎日の家庭学習(読書・算数)継続</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 聞く・話すの基礎作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を聞き要点を正確に伝えることができる。自分 の話したいことをしっかりと相手に伝えることができる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 読みの基礎作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない言葉は自分で図鑑辞書で調べ、必要とする 読むことできる。(学習に向かう姿勢や育成)</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> ノート指導(書く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく丁寧に字を書き、内容や使い方を工夫できる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> グループ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決場面での小集団交流で丁寧の有効活用</li> <li>・教科書等における仲間との連携、学び合い</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 体育・音楽・園工での学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との協力や作品から学び合い、自分の個性を高める。</li> </ul> </div> </div>
三 節 ひろ げ よ う め よ う	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> 学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年全体での発表を一つの作品を磨き上げる。</li> <li>・めあてと評価(友達のよさもあがる、がんばりカード)</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> ひろば</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動の発表と発表</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 卒業式に向けての準備活動開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年別を無視し自分の成長を表現している学年を考 える。</li> </ul> <p style="text-align: center;">真学年交流・学年発表の実行、 成長の振り返</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> 聞く・話すのレベルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の意図を読み取り自分の考えと比較して聞ける。</li> <li>・その場で話す活動についてよく考えたり積極的立場を 明らかにしたりしながら話すことできる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 読みのレベルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容を十分理解したりして、辞書、図、漢字 などに気をつけながら工夫して読むことできる。(読書)</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> ノート指導(書く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り、自分の考えをばっちり書ける。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> グループ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決場面での小集団交流で丁寧の有効活用。</li> <li>・教科書等における仲間との連携、学び合い</li> </ul> </div> </div>
四 節 確 か め つ よ な う げ よ う	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> 感謝の気持ちを伝える場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在校生を対象にした活動</li> <li>・教職員を対象にした活動</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 感謝を对象にした活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族を対象にした活動</li> </ul> <p style="text-align: center;">卒業式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や仲間への成長を誇り上げかけ、進歩、進捗、各 種で表現し将来への期待を胸に果たしていく。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> 体育・音楽・園工での学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1人のよさを生かしながら、表現力が豊かになるよ うに努める。</li> <li>・友達と協力して作品を創造する喜びを知る。</li> </ul> </div> </div>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">学習ルールを確立し学習場面や自分と 友達のよさ・課題を見つけ、お互いに認 め学び合う関係を作る。</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">学習場面や1人1人変化や成長を見つ け、お互いに認め合う。仲間と学び合 いの態度も深めることができる</p>

第○学年 学年プログラム

学年目標				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 発達特性や実態を踏まえ、学年目標の設定の理由について記述する。</li> <li>■ 学年としての生活や学びの姿を具体的にイメージして記述する。</li> </ul>			
指導部の重点	学年、その他	話す/聞く/書く/読む	学び合い	
節	学年（心の豊かさとづくり）	（話す/聞く/読む/書く/学び合い）つ	学びの実態把握（学びの傾向）	
一節	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 運動会</li> <li>■ 異学年交流（表現）</li> <li>・ めあてと評価（カード）</li> <li>・ 集団行動</li> <li>・ 応援方法・態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学年朝会</li> <li>・ 参加意識</li> <li>・ 発表態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 話し方聞き方の基本</li> </ul>
二節	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ あいさつ運動</li> <li>・ 学級内で</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 音読</li> <li>・ 群読</li> <li>・ グループ読み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 小交流の取り入れ</li> <li>・ 2,3人のグループでの交流</li> <li>・ ノート交換</li> </ul>
	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノート活用</li> <li>・ 基本的な構成</li> <li>・ 課題-考え-ふり返り</li> </ul>	
三節	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ しらかば祭り</li> <li>・ 目的意識</li> <li>・ 出し物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資料活用</li> <li>・ 絵や写真</li> <li>・ グラフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループ学習</li> <li>・ 4,5人のグループ</li> <li>・ 話し合いの手順</li> </ul>
	8		<p>〈学年プログラムの作成にあたって〉A4 1枚程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年づくりは、指導部の重点である行事への取組や、年間を通して身につけさせていくあいさつ・相手意識をどう育てていくか、できるだけ具体的な取組が見えるようにする。</li> <li>・ 学びづくりは、実態や発達特性をふまえて、子どもが学ぶ力を身につけていくために、「話す/聞く/書く/読む/学び合い」の観点から、年間を見通したステップや具体的な取組がみえるようにする。</li> <li>・ いずれも、取り上げる要素は、学年目標や、子供の実態と学びの系統をふまえるようにする。</li> </ul>	
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ あいさつ</li> <li>・ 学年の活動</li> </ul>		
四節	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学習発表</li> <li>・ 取組カード</li> <li>・ 練習のふり</li> <li>・ 仲間への感謝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学級交流会</li> <li>・ 認め合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交流活動</li> <li>・ 調査結果</li> <li>・ ふりかえり</li> </ul>
	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループ学習</li> <li>・ 意見交換</li> <li>・ まとめ</li> <li>・ ふり返り</li> </ul>
五節	12			
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 卒業式</li> <li>・ 6年生に感謝の気持ち</li> <li>・ 心をこめて歌と呼びかけ</li> <li>・ 器楽演奏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 進級に向けて</li> <li>・ 一年のふり返り</li> <li>・ 成長の記録化</li> </ul>	
	2			
	3			